



# 市議会うんなん

No.10

2007.4.20



木次駅を出発するトロッコ列車

## 平成19年 3月定例会

2~3

### 財政健全化を目指した緊縮型当初予算

#### 議員定数等検討委員会の設置

4~5

#### 委員会報告

|              |     |       |
|--------------|-----|-------|
| 総務委員会        | 委員長 | 小林 真二 |
| 教育民生委員会      | 委員長 | 石川 幸男 |
| 産業建設委員会      | 委員長 | 田中 隆  |
| ダム対策特別委員会    | 委員長 | 周藤 強  |
| 行財政改革調査特別委員会 | 委員長 | 加藤 一成 |

6~15

### ここが聞きたい 一般質問

24名の議員が質問

安原重隆・星野 智・小林真二・村尾晴子  
加藤一成・福間義昭・板持達夫・細田 実  
渡部彰夫・山崎正幸・深津史志・堀江治之  
深田徳夫・金山寿忠・青木幸正・藤原信宏  
松浦保潔・光谷由紀子・吉井 傳・景山隆義  
藤原政文・堀江 真・加藤欽也・岩田隆福

16

### 請願・陳情・議員発議

新議員紹介・伊原重雄議員ご逝去

# 財政健全化を目指した緊縮型当初予算

雲南市議会3月定例会は、3月5日から23日まで19日間の会期で開かれました。19年度当初予算の概要と主な施策等について報告します。

## 一般会計

(百万未満切捨)

### 〔総額〕

279億2,300万円

対前年 4,400万円

(0.2%)

公債費及び災害復旧費を除いた比較

8億9,000万円

(4.0%)

### 〔歳入〕

市税38億5,000万円

対前年4億2,700万円増

地方交付税

129億4,900万円

対前年 5,100万円

地方債

36億9,200万円

対前年 1億7,100万円

基金繰入金

14億1,300万円

対前年 2億8,200万円

### 〔歳出〕

普通建設事業

36億2,300万円

対前年 5億8,700万円

災害復旧事業

4億3,100万円

対前年3億9,100万円増

公債費(繰上償還金含む)

63億2,000万円

対前年4億5,400万円増

## 人件費の削減

給与費の削減

給料平均

5%

期末勤続手当

10%

管理職手当

5%

特別職

市長

20%

副市長

15%

教育長

13%

職員数の削減

削減額

2億6,000万円

18年度退職者

14人

19年度採用者

3人

削減額

1億2,400万円

## 主な投資的事業

まちづくり交付金事業

木次(出雲西城線他)

7億5,800万円

吉田街なみ環境整備

1億5,600万円

加茂(本町線 福祉トイレ)

5,000万円

市道整備事業

5億5,600万円

国県道・高速道関連事業

2億9,500万円

三刀屋総合センター整備事業

2億7,600万円

掛合統合小学校建設事業

7億5,400万円

スクールバス購入(掛合小3台)

2,500万円

## 主なソフト事業

たちばら保育所運営費(新規)

3,300万円

児童手当(支給額の増額)

2億4,700万円

ファミリーサポートセンター

(地域拡大・木次)

470万円

重度障害者介護手当

(対象拡大・増額)

430万円

放課後子ども教室(新規)

1,600万円

児童生徒相談事業

(不登校対策)

700万円

企業立地促進対策事業

(企業立地助成金)

2,500万円

## 基金の状況

平成18年度末(見込)

財政調整基金

8億2,200万円

減債基金

23億3,400万円

ふるさとづくり基金

2億2,200万円

地域振興基金

7億 400万円

地域福祉基金

3億円

特定目的基金(16基金)

13億5,600万円

(基金合計)

57億4,000万円

予算審査特別委員会報告

# 一般会計

( はマイナス )

|         |             |        |
|---------|-------------|--------|
| 歳出      | 279億2,300万円 | 0.2%   |
| 義務的経費   | 127億2,285万円 | 2.4%   |
| 人件費     | 47億2,021万円  | 2.4%   |
| 公債費     | 63億2,010万円  | 7.8%   |
| 扶助費     | 16億8,254万円  | 2.1%   |
| 投資的経費   | 40億5,438万円  | 4.6%   |
| 普通建設事業費 | 36億2,290万円  | 13.9%  |
| 災害復旧費   | 4億3,148万円   | 968.8% |
| その他の経費  | 111億4,577万円 | 1.3%   |
| 物件費     | 32億4,838万円  | 2.3%   |
| 補助費等    | 41億8,896万円  | 4.6%   |
| 繰出金     | 30億2,111万円  | 1.1%   |
| その他     | 7億6,322万円   | 15.9%  |

|          |             |       |
|----------|-------------|-------|
| 歳入       | 279億2,300万円 | 0.2%  |
| 自主財源     | 71億8,107万円  | 7.5%  |
| 市税       | 38億4,988万円  | 12.5% |
| 使用料・手数料  | 2億9,513万円   | 5.1%  |
| 繰入金      | 14億1,316万円  | 16.6% |
| 諸収入      | 6億3,501万円   | 4.9%  |
| 分担金・負担金等 | 9億8,789万円   | 53.5% |
| 依存財源     | 207億4,193万円 | 2.6%  |
| 地方交付税    | 129億4,930万円 | 0.4%  |
| 地方譲与税等   | 9億2,836万円   | 29.5% |
| 国庫支出金    | 16億7,954万円  | 0.8%  |
| 県支出金     | 14億9,271万円  | 3.5%  |
| 市債       | 36億9,202万円  | 4.4%  |

# 特別会計

( はマイナス )

| 会計名           | 平成19年度予算   | 増減率   | 会計名          | 平成19年度予算   | 増減率   |
|---------------|------------|-------|--------------|------------|-------|
| 国民健康保険事業      | 42億9,260万円 | 14.5% | 生活排水処理事業     | 29億1,610万円 | 10.6% |
| 事業勘定          |            |       | 財産区(幡屋)      | 107万円      | 18.9% |
| 直診勘定(掛合)      | 1億6,610万円  | 12.2% | 土地区画整理事業(大東) | 3億5,500万円  | 46.8% |
| 老人保健事業        | 60億4,950万円 | 2.9%  | ダム対策事業(木次)   | 3,250万円    | 6.5%  |
| 農業労働災害(大東・吉田) | 705万円      | 13.0% | 清嵐荘事業(吉田)    | 3,300万円    | 12.6% |
| 簡易水道事業        | 5億3,100万円  | 44.1% |              |            |       |

( )はこれまでの実施町村

# 企業会計

( はマイナス )

| 会計名   | 平成19年度予算   | 増減率   | 会計名     | 平成19年度予算  | 増減率     |
|-------|------------|-------|---------|-----------|---------|
| 上水道事業 | 7億9,563万円  | 13.1% | 工業用水道事業 | 4,020万円   | 12.8%   |
| 収益的支出 |            |       | 収益的支出   |           |         |
| 資本的支出 | 10億2,689万円 | 18.9% | 資本的支出   | 5億1,102万円 | 2279.3% |

## 議員定数等検討委員会の設置

平成18年11月、議会に設置した行財政改革調査特別委員会の中間報告において、次期改選時(平成20年)の議員定数等について、議会独自の検討委員会設置の提言を行った。

これを受け、3月定例会において正式に検討委員会を設置した。

(検討項目)

- 次期改選時の議員定数
- 次期改選時の選挙区
- 議員報酬のあり方
- 委員会制度の見直し

会派制導入の有無  
議会機能の充実強化  
議員定数等検討委員会

委員長 吉井 傳  
副委員長 金山 寿忠  
委員 景山 源栄  
  石川 幸男  
  細田 実  
  渡部 彰夫  
  青木 幸正  
  周藤 強  
  藤原 政文  
  内田 郁夫  
  阿川 光美  
  堀江 眞



建設の進む掛合統合小学校

総務  
委員会



委員長 小林眞二

3月20日、付託・委託された条例関係10件、予算12件、その他2件について審議し、全て全会一致で可決すべきものと決定した。

予算関係

19年度当初予算（所管分）は、公の施設の使用料の減免措置について、4月1日から実施せず、十分な周知期間を設けること、また、内容が一貫性に欠けることから、改めて統一見解の説明を受けた後、可決すべきものと決定した。

また、雲南ブランド

化プロジェクトの500万円、住基カード維持費590万円の予算についての質問に執行部は、

新年度から総務費の「がんばる地方応援プログラム」事業があり、このプログラムに提案した自治体には、概ね3千万円の特別地方交付税の支援が受けられる。住基カードの多目的利用、避難者情報システムと地域通貨の三つの運用費として計上してある。雲南市は17年度から21年度まで総務省の地域再生計画の認可を受け、電子自治体を目指すしていると説明。

条例関係

雲南市職員の勤務時間休暇等に関する条例の一部改正他 10件

その他  
島根県市町村総合事務組合規約の変更等2件

教育民生  
委員会



委員長 石川幸男

3月19日、20日、付託・委託された条例関係11件、公の施設の指定管理者の指定10件、予算5件について審議し、全て可決すべきものと決定した。

予算関係

新年度から公民館の運営を、現在掛合町で実施している「協議会方式」に統一する方針が示されたが、公民館主事・図書館職員の雇用・賃金・任用形態等についての審議は2日間に及んだ。

公民館の業務量や業務内容が見直しされないまま、賃金が調整されるこ

との問題点や、図書館については職員の処遇問題等、慎重に審議を行った。公民館が地域振興の拠点として求められつつある中、業務を含めたあり方の方向性を早急に示すこと、図書館職員の処遇について激減緩和措置をとること、関連予算の執行では、運営方針を早急に確立することの意見を付した。

公の施設使用料  
減免規程の見直しによる取り扱いは、減免基準の明確化を期し、実施延期を要請した。

条例関係

一部改正  
学校給食費徴収条例の給食費負担金の光熱水費分一食当たり2円増額について、学校給食は教育の一環であり公費で負担すべきの発言に対し、合併統一時に $\frac{1}{3}$ 負担に決定していたと答弁（賛成多数）

公民館の業務量や業務内容が見直しされないまま、賃金が調整されるこ

産業建設  
委員会



委員長 田中 隆

3月16日、付託・委託された条例関係12件、指定管理者の指定5件、予算14件について審議し、全て可決すべきものと決定した。

予算関係

補正予算関係は、平成18年度一般会計補正予算（所管分）、簡易水道事業特別会計補正予算、生活排水処理事業特別会計補正予算、土地区画整理事業特別会計補正予算、清嵐荘事業特別会計補正予算、水道事業会計補正予算について審議した。

平成19年度予算関係は、

一般会計予算（所管分）、簡易水道事業特別会計予算、生活排水処理事業特別会計予算、土地区画整理事業特別会計予算、清嵐荘事業特別会計予算、水道事業会計予算、工業用水道事業特別会計予算を審議した。

条例関係

雲南市建築協定条例の制定は、建築協定に關し必要な事項を定める条例。公の施設の指定管理者の指定は、指定管理する施設の条例の一部を改正する条例。水道事業の設置等に関する条例の一部改正は、工業用水道事業の給水量の拡大に伴う条例の改正。簡易水道条例の一部改正は、飲料水供給施設の簡易水道への名称変更。

農薬空中散布に関する陳情は、継続審査となつた。

# ダム対策特別委員会

委員長 周藤 強

3月22日、付託・委託された予算2件は、原案のとおり可決すべきものと全会一致で決定した。

## 予算関係

付託された案件

平成18年度ダム対策事業特別会計補正予算（第3号）

委託された案件

平成19年度ダム対策事業特別会計予算

この中で市が主体的に整備するエントランス広場（物販施設）の概略設計費が計上された。

## その他

次のことについて助役ダム対策課長から説明を受けた。

尾原ダム左岸堤体取付形状の変更について、地元説明会を開催し、理解が得られたこと。

3月1日現在のダム本体掘削工事の進捗率が81%であること。

また骨材仮設プラントが完成し、試験運転中であること。

「第6回斐伊川お花見レガッタ」は、河川災害復旧工事が完成した会場で5月13日に開催されること。

「尾原ダム菜の花まつり2007」が4月22日に奥出雲町で開催されること。

なお、尾原ダム周辺地域活性化対策について、「地域に開かれたダム整備計画」に基づき、強力に推進されるよう新島根県知事にこれまでの経緯も含め、要請するよう執行部に要望した。

尾原ダム建設のため仮設された骨材プラント

# 行財政改革調査特別委員会

委員長 加藤 一成

本委員会は、今後さらなる行財政改革を迅速かつ着実に実施していく必要があることから、3月議会の最終日に緊急的に中間報告を行った。

一、財政再建に向けた早期健全化の対策

事務・事業の見直しを行うことにより歳出全般の効率化、施策の選択と集中、コスト削減など、財政健全化のための計画を策定し財政構造の改善に努めること。

二、平成19年度以降の行財政改革の推進と推進体制の強化

雲南市行財政改革大綱に基づき、具体的に実施すべき改革項目をまとめた雲南市行財政改革実施計画が示されたが、この実施計画については精査の上、真の行財政改革と

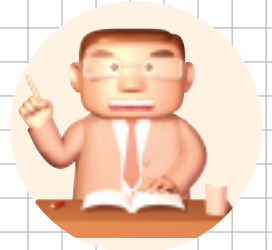
なるよう努めること。

三、市民への説明責任の明確化による市民理解と透明性の向上

行財政改革の推進に伴う施策の実施にあたっては、住民サービスの立場を尊重し住民と密接に連携を図りながら、市民の関心と理解をより深めるよう情報公開による透明性の向上を図ること。



# ここが聞きたい



# 質一般問

一般質問のページは質問者本人の原稿をもとに広報委員会で編集しました。また質問項目すべてを載せているものではありません。



安原重隆

## 共通認識に立った行政運営を

### 答 市民との意見交換の場が大切

**問** 住民と行政があらゆる問題を共通に認識することが大切と思うが、現状はどうか。市長は基本方針の一つに情報公開の徹底を掲げ、公聴活動の充実を言われるが、私は懸念をもっている。地区ごとの市政懇談会のあり方については、一方的に多くのことを知らせようとするため無理があるのではないかと。市長 直接的に市民と意見交換する場が大切で、一層の情報共有化にもつながるので今後も情報

公開によるまちづくり姿勢を堅持したい。市政懇談会は、期間が長過ぎる内容にずれが生じることもある。地域の課題をテーマにも考えている。**問** 雲南聴覚障害者協会、県ろうあ連盟の皆さんが強く求めている市役所への手話通訳者の設置と障害者計画への参画は、災害時における聴覚障害者への情報伝達も大きな課題である。また福祉医療制度が変わり、医療においても格差を生んでいるのではないかと。

**健康福祉部長** 当面は早期に手話通訳のできる職員を担当課に配置したい。障害者福祉計画は皆さんの意見が反映される計画にしたい。医療費の不安については、総合センター・健康福祉センター・福祉事務所などで、ご相談をいただきながら、色々な制度もあるので合わせて対応を考えていきたい。



聴覚障害者の皆さんの議会傍聴で手話通訳が行われました

## 独り暮らしの老人対策は

### 答 見守り活動等の推進を

星野 智



**問** 住民基本台帳カードの交付が行われ3年7か月が経過したが進捗状況はどうか。積極的な対応ができていないのではないかと。**市長** 当初の目標は達成している。今後も住基ネットを活用した電子自治体づくりは進めていかねばならない。**問** 住基カードを利用した地域通貨システム事業は効果がないのではないかと。**市長** 地域通貨システムそのものが目的ではない。住基カードの所有者

を増やす手段である。**問** 老人医療費負担も増加する中で独り暮らしの老人対策はどうなっているか。**健康福祉部長** 独り暮らしの高齢者世帯は995世帯ある。医療費の軽減等も図れる施策を前提とし、それぞれ必要な状況に応じた支援体制を組み、見守り活動等の推進を図る。**問** 街路灯電気料補助金を19年度から廃止するということが、市民の負担増につながる。支援打ち切りでよいのか。**産業振興部長** 街路灯補助金は該当地域が一部であること、同じ町の中でも地域が限定されること、市の財政が非常に厳しい状況であることなどから廃止することとした。御理解と御協力をお願いする。



統合後、人材育成の拠点として活用が期待される波多小学校

## 銅鐸資料館 「炎の芸術館」計画は

**答** 財政計画を  
堅守して実施したい

小林眞二



**問** 銅鐸資料館「炎の芸術館」建設について  
**市長** 加茂岩倉遺跡で39個の銅鐸が出土して以来、8年をかけた

芸術館（仮）整備構想」を策定し、新市建設計画（現在は交付金事業）に位置づけたもので、参加型・体験型の博物館を目指す。文化財や神話伝説地としての特徴を活かして、鉄の歴史村を含めた「雲南市史跡」「歴博」「荒神谷」を織りまぜた周遊プランの開発を行い、観光振興や経済波及効果を求めながら、雲南ブランド化の一つとして育てていきたい。19年度から23年度に実施計上してある中期財政計画から逸脱しないよう、厳守・堅守を貫き、ぜひとも本計画の実施を目指したい。

**問** 公共工事の入札

制度や落札率について  
**総務部長** 契約者選定基準の明確化や公平・公正な入札制度、及び不正防止対策は非常に重要だ。総合評価落札方式を平成19年度において、試行的に実施していきたい。また法改正の動向を見ながら一般競争入札・郵便入札の導入を検討する。



加藤一成

**問** 一体感醸成のためには、周辺部が寂れないように夢のある将来計画を策定して、少しずつでも計画推進の環境整備を進め、やる気を起こさせることが重要である。地域資源をみがくような地域づくり事業を優先実

施、優先支援を行って魅力ある雲南市を創りあげようとする活力を保持・増幅していくことが必要ではないか。

**市長** 地域資源を雲南市の資源として生かしていく。その成果が一体感の醸成に大きく貢献する

ま学園がある。小学校2年生から中学校2年生までの20名を募集し、山村留学センターとして専門の指導員の指導を受けながら体験活動を行っている。

生活面の指導者や里親確保、宿泊施設の整備、自然体験活動の専門指導員の養成、心理カウンセラーの配置、受け入れ側のシステムの構築等が必要で難しい選択である。

## 波多小学校施設の活用は 地域づくりと育ちの環境づくり

**問** 子育て支援事業で、全国的に妊婦無料健診の回数が拡充されている。少子化対策として拡充するべきではないか。

**健康福祉部長** 19年度中に他の事業の整理統合等を図り財源を確保する。がんは日本で最多の死亡原因である。がんでの死亡率の激減を実現するためがん対策基本法が施行された。市の各種検診受診の状況は。

**問** 地域の安心・安全な医療の充実について、現場では救急医療に不安だらけの状態である。早期の対策はあるか。

**健康福祉部長** とりわけ雲南総合病院では、内科医の減少で夜間・休日の救急対応が制限されている。地域医療対策会議の中で、開業医や診療所と連携を深め、初期救急診療体制の充実を図っていく。



村尾晴子

## 妊婦無料健診を拡充すべきだ 答 本年度中に拡充を検討



福間義昭

### 財政健全化の達成施策は

#### 答 予算の効果的な活用で

**問** 財政非常事態の解消へ今何が必要か、市民への理解を得る説明は

**市長** 行財政改革を前倒し実施する。限られた予算を効果的に使う事が求められ、徹底した対話を主体とした情報公開での意見の交換が必要だ。雲南市は絶対につぶれず倒産もしない。

**問** 情報公開の重要性から市政懇談会の開催計画は

**市長** 今後は地域の課題がメインテーマと考える。参加者増を目指した取り組みを実施したい。

**問** 大東堆肥センタ―の実情と成果、また堆肥の活用状況は

**産業振興部長** 堆肥利用の普及を推進するため、耕畜の連携による循環型農業の拡大を図りたい。

**問** 全国和牛能力共進会鳥取大会の支援、取り組みは

**産業振興部長** 雲南和牛のブランド化を目指し取り組み中だ。優秀な成績を残す事が畜産振興への起爆剤となるよう期待する。

**問** 暖冬による農作物等の被害の実体と影響

**産業振興部長** 生育が早まり野菜等生産過剰となったが、作付時期は例年通りと考える。  
**問** 命の尊さに対する教育が、どのような方針と指導で実施されているのか。  
**教育長** 大きく2つに大別出来る。学校教育では人権尊重という事を基底にすべての活動に取り入れるべきだ。家庭教育、また社会教育を通し命の尊さについて共通認識したい。



1月29日、公立雲南総合病院の充実強化を図るため雲南市議員連盟を設立しました



渡部彰夫

### 特定目的基金の有効活用は

#### 答 岩倉銅鑄保存施設整備ほか

**問** 「しめね食と農の県民条例」が制定された。集落営農組織の育成強化、及び経営の法人化等の現状と課題について。

**産業振興部長** 高齢化による耕作放棄、農地の荒廃防止のためにも、集落営農組織の育成を進めていく考えである。現在集落営農型の農事組合法人が6組織、任意組合が72組織あり、5か年以内に法人を目指す営農組

織が5組織ある。現在の問題は、オペレーターの確保や営農組合の経理などが上げられる。

**問** 遊休農地、耕作放棄地の発生防止等の必要な対策について。

**産業振興部長** 2005年の農業センサスによると、遊休農地は約500haに達する見込みである。防止策として、集落営農組織や認定農業者等担い

手の確保が今後の最優先課題である。

**問** 特定目的基金で、今後の総合計画との直接関連性の高い基金は何か。

**総務部長** 19年度普通会計ベースで19の特定基金がある。中期財政計画で総合計画と関連性の高いものとして、活用を見込んでいる基金は、庁舎建設基金、統合小学校建設基金、加茂岩倉銅鑄保存施設整備基金である。

**市長** 総合計画を立て、



### 速水市政の目指す雲南市は

#### 答 協働によるまちづくり

山崎正幸

**問** 速水市政は温かい雲南市づくりをさらに目指すべきと思うが、市長の考えはどうか。

**問** 市職員が地域活

動を支援する地域支援コーディネーター制度を導入する考えはないか。



板持達夫

### 幼小中の適正規模とは

#### 答 地域の実情に配慮し検討

**問** 昨年末、幼小中適正規模適正配置検討委員会が設置された。児童生徒数の適正規模はどの

ように考えるのか。地理的条件など地域の特性を考慮するか。  
**教育長** 地域の特性を考えた適正規模としたい。小学校25校中、13校が複式学級だが学校行事、クラブ活動など、一定数の児童生徒数は必要だ。  
**問** 適正配置は学校の再編、統廃合だ。どのように考えるか。  
**教育長** 地域の実情に配慮した学校配置が大切だ。通学距離、通学路の安全対策など現実的な対応を考える。

だ。そうした機会を持つか。  
**教育長** 懇談会は極めて重要であり実施する。保護者、住民の意見、要望を把握しながら進める。  
**問** これからの高齢者対策は健康問題。健康で生き生きと生涯を全うすることが出来る地域社会をつくるのが重要だ。  
**健康福祉部長** 今回策定した総合保健福祉計画のなかで、地域での支え合い、安全・安心な生活環境づくりを重視している。相談支援体制の確立、地域福祉推進体制の整備、地域福祉ネットワークの充実を図ってまいりたい。



細田 実

### 雲南総合病院充実へ市の独自策を

#### 答 住民の理解を求め推進する

**問** 東京一局集中でなく地域経済の活性化、地方財政の確立など求められている。格差社会といわれる今日、安倍政権

への期待はあるか。  
**市長** 都市と地方の格差が存在する中で、国と地方の役割分担や交付税、補助金、税源配分見直し

の検討は一定の評価を期待して見守っている。  
**問** 雲南総合病院精神科病棟一時閉鎖など、地域の医療への不安が高

まっている。雲南市としての取り組みを充実させるべきではないか。病院のあり方に住民の意見を取り入れるべきだ。  
**市長** 独自の医師確保の取り組み、島根大学との包括協定に基づく医師の派遣要請、島根県への支援要請、地元医師会へ

5つの将来像を目指す。市民の皆様と行政が一緒になって温かみのある、まちづくりに取り組む。  
**問** 雲南市まちづくり基本条例を制定する趣旨とスケジュールは。  
**政策企画部長** 自治体運営の基本となる理念や、市民のまちづくりへの参加の権利、責務、また行政の責務などを規定した、まちづくりの基本となるものである。10名の市民委員と、2名の有識者を加え、雲南市まちづくり推進懇話会を立ち上げ、平成19年度中に検討結果について提言をしていただく。

選定は住民代表、保護者も参加すべきではないか。全園を民営化する方針は見直すべきだ。  
**健康福祉部長** 事業者募集要項など保護者、担当職員の見解を得て策定している。今後、実施施設実施時期の見直しを行う予定である。





深津吏志

## 公立雲南病院の体制は

### 答 一刻も早く医師の確保

**問** 公立雲南総合病院の精神科病棟を一時閉鎖したが今後の対応は。また外来はどのようにするか。

**市長** やむなく一時閉鎖したが一刻も早く医師を確保して元に戻したい。外来については大学病院等の非常勤医師を確保して週4日の診療体制で行いたい。

**問** 内科医が不足し、当直医1人体制となり救急体制が充分確保できず、風評や噂が飛び交っている。住民への説明を徹底すべきではないか。

**市長** 雲南地域医療対策会議で普及啓発プロジェクトを設置する予定であり、その活用により市民と対話したい。

**問** 給食費の未納が596万円あるがその内容はどのようなものか。

**教育部長** 1月末で41

4万円の滞納額、件数は102名分、保護者の実数で56人となっており、経済的理由もあるが保護者のモラルの問題もある。

**教育部長** 合併の際一番低いところに設定した。県内でも低い方なので食事内容を維持する上からも、保護者に負担していただきたい。



地球温暖化対策として普及が求められる太陽光発電

**問** 給食費の内、光熱水費が一食当り2円引き上げられ4円となる。少子化対策の面から市が負担してはどうか。

## 安全安心のまちづくり 条例制定は

### 答 制定を視野に協議調整する



堀江治之

**問** 犯罪等から我が身を守り、安全で安心な生活が出来る環境づくりに、全国で安全安心のまちづくり条例の制定が進められているが、雲南市での条例制定の考えは。

**総務部長** 県と雲南警察署を交えた、防犯に関する連絡会を持っており、今後条例の制定を視野に入れ、協議調整を行っていくこととしている。

**問** 大阪高裁におい



て住基ネットをめぐる訴訟で、違憲判決が出されたが市長の所感は。

**市長** この問題は、住民側と行政側、それぞれ見解の相違があるところであり、市としては、法にのっとり、粛々と進める。

**問** 一般住宅の耐震診断経費に対する補助制度導入の考えはないか。

**建設部長** 雲南市としては、今後市営住宅整備のため導入予定である地域住宅交付金事業の提案事

業の中の一つとして検討してまいりたいと考えている。

**問** 中国横断自動車道尾道松江線の三刀屋町六重地区の、追加インターチェンジ設置要望に対する調査検討の結果は。

**市長** まずは、広島までの本線をいち早く開通させることを第一義とし、開通後、インターチェンジについて検討することが、現在とり得る最良の選択であると思う。

## 行財政改革への提案

### 雲南ブランド化戦略を

深田徳夫



**問** 重点施策は、大幅に減額されているが、地域計画はできるのか。  
**市長** 福祉等積極的に盛り込み、優先プロジェクトとして雲南ブランド化戦略を打ち出した。地域計画は、ソフトを中心に市民と協働で行う。

事業仕分けの先進事例などを調査研究し取り組む。  
**問** PFI事業を導入すべきではないか。  
**政策企画部長** 前向に検討する。  
**問** 企業誘致等に努力されてきた。今後は雇用支援が大切と思うが。  
**助役** 合併時の期待は産業振興であり、今後若年層の製造業への社員確保が厳しいので、地域を超えた情報提供が必要である。  
**問** 教育委員会の生涯学習の視点と推進目標は何か、また日本一短い感謝の手紙の活用は。  
**教育長** 生涯学習の目指すものは人材育成であり、社会の課題に対する学習を進める。手紙の活用は家庭の日を設け家族ぐるみで活用を願う。  
**問** 古代歴史博物館のオープンについての所感は。  
**市長** 博物館には岩倉遺跡の銅鐸は欠かせない中心的な展示品であり、今後博物館との連携が重要になってくる。



金山寿忠

**問** 地球温暖化対策の一環と、エネルギーの地産地消を進めるために、島根三洋電機の太陽光発電システムを市役所本庁に導入する考えはないか。  
**市長** 太陽光発電の導入については今一度事業を精査、見直しすることにより検討していきたい。  
**問** 今後の財政運営



青木幸正

**問** 教育再生会議での教委の廃止や、国による教委の見直し等の見解は。  
**教育長** 教育委員会制度の意義を踏まえると、市町村教委は存在の必要性があると考えている。  
**問** 来年度予算の教育予算確保は大丈夫か。  
**教育部長** 限られた財源の中、学校配分額が極力

## 市役所へ太陽光発電の導入は 答 事業の見直しして検討する

の推移はどうなるか。  
**市長** 平成23年度までの中期財政計画で、歳入の地方交付税が今後2〜3%減少し、歳出では、21年度までは公債費（借金）が増加する。徹底した行財政改革を実施し、平成23年度予算規模は235億円、普通建設事業費は14億5千万円余、

スポ少の施設利用料金は  
答 スポ少等の活動は免除

減らないよう、幼小中への経常的経費に配慮し昨年度より1%程度の削減にした。  
**問** 給食費の光熱水費分2円値上げの必要性は。  
**教育部長** 他市では減額の市もあるが、当初計画8円の内、2円の値上げをお願いしたい。  
**問** 児童、生徒の公施設利用料金の減免について伺う。  
**教育長** スポーツ少年団活動等に支障が出ないよう、免除する方向で検討する。  
**問** 地域や保護者の意見が学校現場に反映できているのか伺う。  
**教育長** いじめ等につい

年度までは引き続き厳しい財政状況が続くと考えている。  
**問** 人件費の削減や職員の意識改革に効果がある選挙の開票事務の時間短縮へどう取り組むか。  
**市長** これまででない目標数値を定めて、選挙事務の効率化を図ってきたい。これをきっかけに事務事業の見直しにつなげていきたい。  
**問** 匿名での投書もあり、学校の保護者会に課長も参加した結果、保護者から教師に不安と疑問の声もあつた。  
**問** 加茂町中心市街地活性化事業の本町線道路整備について伺う。  
**建設部長** 工事期間は今年夏頃から21年度までの3年間で総事業費は12億5千万円（道路整備費の芸術館建設）である。本町線・南北小学校線工事には地元の方々と協議しながら考える。



藤原信宏

## パークゴルフ場の再整備方針は

### 答 観光交流拠点の4番バッテリーに

**問** 明石緑が丘公園パークゴルフ場用途転換の決定方針を伺う。またバラ園の事業展開計画と観光複合交流の二大拠点とすべく市の戦略はどうか。

産業振興部長  
ケイマン

ゴルフ場を廃止して部分を新たなパークゴルフ場とし、残りはバラ園貸し出す。(株)みとやは解散され、新しい管理組合が指定管理者を引き継ぐ。バラ園には鑑賞用バラ園の整備にも努めて頂く。

**市長** 雲南の観光交流の4番バッテリーとすべく、総力を挙げて取り組む。  
**問** 本格化する2007問題に対処するため、庁内あげての課題総括と対策指針策定の考え、団塊世代の地域における

人材活用場の創出 60歳退職後の雇用の確保  
Uイターン移住プロジェクトの促進について問う  
**政策企画部長** それぞれの部署ごとに対策を進めていく。団塊世代には地域での活躍を期待しており、能力活用場の創出と人材育成に努める。Uイターンは県と連携し、地域を挙げて推進する。  
**産業振興部長** 安定した

高齢者の雇用が図られるよう努める。  
**問** 新市の一体化と職員融和、職場の活性化推進のために、総合センター間の人事交流を促進すべきと考えるがどうか。  
**総務部長** 今は本庁と総合センターとの異動を優先的に実施しており、総合センター間の異動は20年度から実施したい。



職員一体となり議会を支えている議会事務局

## バランスシートの提出を

### 答 議会に提出並びに公開

松浦保潔



**問** 雲南市に初の普通会計バランスシートが作成された事は評価するが、有形固定資産に道路橋梁等事実上売却不可能と思われるものがある。資産として評価すべきか。  
**総務部長** 地方公共団体の保有する固定資産の大半は行政財産であり大部分が事実上売却困難である。総務省が示した作成要領では民間のような財政分析はまだなじまない。  
**問** 道路橋梁等を資産として繰り入れると実態と違うので雲南市独自

で見直す考えはないか。  
**総務部長** 独自でバランスシートを作成する事は難しいが、地方公共団体の再生法の指標としての実質赤字比率、連結の実質公債費等と合わせて財務分析をし、財政計画を立てなければいけない。  
**問** 投資及び流動資産が資産全体の96%と非常に少なく、しかもこの中に未収金も含まれており危機的な状態であるが今後の改善策はどうか。  
**総務部長** 今後普通建設事業等を削減し未収金の

滞納対策を強化して行財政改革の推進に努める。  
**問** 地球温暖化防止対策として、ごみの減量を目指す改正容器包装リサイクル法への対応は。  
**市民部長** 分別収集の1層の推進、包装用廃棄物の国内での円滑なリサイクル等に取り組み。レジ袋の有料化、課税は現在考えていない。



## 支援企業に 正規雇用求めよ

### 答 安定雇用の確保求める

光谷由紀子

の雇用実態はどうか。正規雇用を求めるべきだ。

**産業振興部長** 合併後、

認定企業は12件である。

契約、派遣、正規の雇用

実態がある。安定雇用の

確保を求めたい。

**問** かもめ保育園の

保護者会アンケートは、

民営化賛成11、反対14、

どちらでもない29、その

他2という数字。反対の

声が多いが強引に進める

のか。

**健康福祉部長** これまで

の説明でも十分理解され

ていないと感じた。説明

することで一定の理解を

得られると判断している。

**問** 介護保険の軽度

者に対する福祉用具の貸

与の制度で負担増の方が

出ている。厚労省が、制

度緩和の方針を出した。

どう取り組むのか。

**健康福祉部長** 貸与の分

析結果で運用の一部見直

しの方向が出た。雲南広

域連合で対応するが、国

の基準で進むと判断して

いる。



吉井 傳

地域運営は予算配分し委ねては

答 将来像として二考に値す

流が生まれてきた。この

事業は今後も継続する。

**問** 雲南市の限界集

落の現状と対策を問う。

**市長** 高齢化率（65歳

以上）50%以上27集落、

45%以上20集落、40%

以上52集落ある。就労

の確保、生活環境の整備、

福祉対策の充実に回り、

また、国へ過疎対策に係

る関係法整備等を要望し

ていく。地域懇談会等で

もこのようなテーマで話

し合っていきたい。

**問** 地域振興補助金

はどのような効果があっ

たか。また、事業継続す

るのか。

**政策企画部長** 自主組織

まちづくりグループ、N

PO等の設立の促進や、

自らが企画立案し事業進

行するなどの効果が表わ

れている。また、グルー

プ間の連携や広域的な交



「限界集落」が多く出現しつつある雲南市 現状把握と対策が求められる



景山隆義

どうなる県道宮内掛合線

答 着工に向け協議深める

**問** 県道宮内掛合線は、今後どのように進められるのか。

**市長** 早期着工に向けて地元協議をさらに深めていく必要がある。今後、積極的に話し合いの場を持ちたい。

**問** 今年度から新たに始まる「地域農業再編事業」は、認定農業者へ

の支援、集落リーダーの育成等を支援する事業だ。本市においての取り組み体制はどうか。

**産業振興部長** 通称、集落リーダー育成40万円事業にかかわる事業と認識している。集落営農育成に関し非常に効果的である。予算調整を図り活用を考えたい。

**問** 県の新事業「頑張る市町村応援交付金事業」について取り組み考えはあるか。

**産業振興部長** 地産地消の普及定着、特産の産地づくりなど取り組みを検討し、実施できるよう進めたい。

**問** 休止中の「民谷

つづら畑線工事」再開はいつか。

**産業振興部長** 市の財政事情が厳しく、やむなく休止期間を設けた。林道として貫通させる計画に変わりはない。

**問** 各種会合の会場が毎回変わることに不満の声があるがどうか。

**総務部長** 年間を通じて同じ会場で開催するのは難しい状況だが、会議の構成員の皆さんと協議し、配慮したい。

**問** 公民館と図書館

それぞれ、職員協議会の設置理由と根拠はなにか。

**教育部長** 設置の理由は公民館主事、図書館職員の雇用形態の一元化を図り、併せて常勤化を図るためである。

その根拠は、掛合町公民館協議会の常勤職員は週5日勤務、その他及び図書館職員は月17日勤務の嘱託職員である。勤務日数の制限から業務に支障を来している状況が多くある。社会教育行政



市内各所で生活関連道路の整備が求められている（県道宮内掛合線）

を円滑に実施するため、掛合町方式により住民サービス向上を図りたい。

**問** 地域作りと公民館検討プロジェクトムが作られ、平成20年3月を目的に検討が重ねられることになっている。

**教育部長** 合併協議以来の大きな課題である。報酬調整、雇用形態など現場から要望もあり、これまでの大きな課題を解消

していくため、経過措置として19年度は進めていく。

**問** 長く重い歴史を持つ尾原ダム事業に対する雲南市の考え方を、新知事にもどのように訴えていくのか。

**市長** 新知事に対し、これまで50年にわたる経緯を踏まえながら、移転者の方を初め、地元住民の思い、地域の実情をしっかりと伝えていかなければならない。

公民館、図書館 職員協議会の目的は

答 雇用の常勤化を実施

藤原政文



雇用形態を一本化し運営が図られようとしている図書館（写真は木次図書館）



堀江 眞

## 公の施設使用料取るのか

### 答 見直しは十分考慮して

**問** 公の施設の減免基準が広報で示された。直ちに使用料は徴収できるか。

**総務部長** 規則改正で統一できるものは統一していききたい。条例で使用料を徴収しないというものもあり、20年度末までに調整を図っていききたい。

**問** 減額、免除では

なく使用料は取らないという見直しにならないか。

**市長** 無料、免除は耳ざわりのいい言葉だが、市民が主役のまちづくりの中で普遍的な条例としていく必要がある。

**問** 吉田町のみに存在する出張所をどのように考えているか。

**市長** 地域自主組織と

公民館のあり方が議論されている。これからのモデルとなる出張所になるよう期待している。

**問** 職員体制はどうなるか。

**総務部長** これまでの2人制から常時1人配置の予算を措置した。行政手続等に支障がないように配慮していききたい。

**問** 公民館の体制見直しは性急すぎないか。

**市長** 合併時からの課題だ。報酬について大きな開きがあり2か年かけて標準化をしていく。業務内容は今年度中に統一を図っていききたい。

**問** 市民バスとスクールバスの一体化で不便になる地域はないか。

**政策企画部長** 不利益をうける地域はない。未長い運行を確保するため効率的にやる。

**問** 民間の体制見直しは性急すぎないか。

**市長** 合併時からの課題だ。報酬について大きな開きがあり2か年かけて標準化をしていく。業務内容は今年度中に統一を図っていききたい。

**問** 市民バスとスクールバスの一体化で不便になる地域はないか。

**政策企画部長** 不利益をうける地域はない。未長い運行を確保するため効率的にやる。



岩田隆福

## 周辺地域の振興策は

### 答 安心して生活できる環境が必要だ

上で共同作業が困難となった集落が27ある。雇用の場の確保、安心して生活できる環境づくりが必要である。

**問** 国、県の事業を受けて市有林整備の考えはないか。

**産業振興部長** 市有林を核として、隣接の民有林を含んだ、雲南市林業振興モデル団地を計画している。19年度は掛合町井原谷155ha、大東町新庄62haの調査を中心に行う予定である。

**問** これを契機に年次計画を立て市有林整備をする考えはないか。

**産業振興部長** 財政状況を見ながら計画的に推進したい。

**問** 危機的、限界的集落という言葉がある。市長の現状認識とその対策は。

**市長** 高齢化率50%以上みるか。

**政策企画部長** 総意を求めるとして定めた制度と理解願いたい。

## 残業経費の削減をはかれ 答 事務の効率化に努力する



加藤 欽也

**問** 時間外手当の総額と職員一人当たりの平均額はいくらか。残業及び経費の削減対策はあるか。

**総務部長** 18年度予算で総額1億3500万円年間一人当たり約27万円である。毎週水曜日にノ

ー残業デーを設定して業務の状況を把握し、事務

の効率化と職場環境の改善に努力している。IS

O14001を全庁舎に

広げ仕事を見直す作業が必要と考える。

**問** 公の施設使用で、スポーツ少年団の使用料

免除は継続するか。

**教育長** 今後も免除の方

**問** 各戸に配布の印刷物が多すぎないか。

**総務部長** 情報開示は必要であり、まとめる工夫をして対応したい。

**問** PFI導入のため民間企業、金融機関、行政が一体となり勉強会の立ち上げの考えはないか。

**市長** 民間企業、金融機関、行政が一体となり勉強会の立ち上げの考えはないか。

**問** パブリックコメント制度を市民の総意と

みるか。

一般質問のページは質問者本人の原稿をもとに広報委員会で編集しました。また質問項目すべてを載せているものではありません。

# 請願・陳情

審査結果

## 【採択されたもの】

地域生活支援事業に係る利用者負担の無料化等について  
(他(陳情書))

雲南市手をつなぐ育成会会長 岡田 耕治

リハビリテーション医療の日数制限撤廃の意見書採択を求  
める陳情書

島根県保険医協会会長 古沢 正治

脳脊髄液減少症の治療推進に関する請願書

脳脊髄液減少症患者島根県支援の会代表 瀬尾 瑞枝

## 【不採択となったもの】

安心・安全な公務・公共サービス拡充を求める請願

全国労働組合総連合議長 坂内三夫他

## 【継続審査となったもの】

農薬空中散布に関する陳情書

島根くらしといのちのネットワーク代表 倉塚 香織

# 議員発議

一、地方自治法の改正に伴う議会運営に関する2件につ  
いて、議長発議で条例等の改正を行いました。

雲南市議会委員会条例の一部改正

雲南市議会会議規則の一部改正

二、請願・陳情の採択に伴う議員発議2件、自治体の公益  
に関するもの1件について、国の関係機関に対し意見書  
の提出を行うもので、いずれも採択した。

リハビリテーション医療の日数制限を早急に撤廃するよう  
求める意見書

脳脊髄液減少症の研究・治療等の推進を求める意見書

全国森林環境税の創設を求める意見書

## 新議員紹介

福島 光浩



伊原重雄議員の死  
去に伴い、掛合選挙  
区の補欠選挙が2月  
18日に告示され、無  
投票で、若干29歳若  
さあふれるフレッシ  
ュな福島議員が当選  
しました。

住 所 掛合町掛合939の1  
生年月日 昭和52年7月2日(29歳)  
所属委員会 総務常任委員会

## 伊原重雄議員ご逝去

伊原重雄議員が、平成19年1月14日ご逝去さ  
れました。

伊原氏は、平成7年4月旧掛合町議会議員に  
初当選され、総務常任委員長、議会運営委員長、  
副議長としてご活躍されました。その後、平成  
16年11月に雲南市が誕生し、雲南市議会議員に  
当選されました。初議会では年長議員として、  
議会構成や議会運営の協議調整の取りまとめ役  
をつとめ、総務常任委員長、高速道路対策特別委  
員として、議会活動に邁進されました。

本議会では3月5日、  
定例会の冒頭で追悼演説  
を行い、故人を偲び哀悼  
の意を表しました。

合掌

## 編集後記

やわらかな日ざしが心地よい絶好の季節、春がき  
ました。4月、何となく気力がみなぎる時、皆が仕  
事に学業に新たな意欲を掻き立てていることでしょ  
う。ですが、焦らず背伸びせず、一歩ずつ地道に進  
みたいもの、人生に近道はありません。「平常心は  
道」。毎日の積み重ねこそが成果をみるのです。

3月議会も、「公民館事業や主事等の報酬・勤務時  
間の統一」、「公の施設使用料の見直しと減免基準の統  
一」など、一貫性の乏しい性急な提案が多く、審議  
が混乱しました。難しい問題ですので、すぐに統一  
を図れとは申しません。後戻りのない着実な論議を  
積み重ねて、一歩一歩理解を得て進めて欲しいもの  
です。勇み足がとみに増えてきている気がします。

第16回統一地方選の真只中です。今や国・地方の  
財政は火の車、「あれもやります。これもやります」  
は、不可能です。財源確保を前提にした「少子高齢  
化と福祉」「景気・雇用」など候補者のまちづくり施  
策をしっかり見極めたいものです。市民の皆さんも、  
この機会に地方自治への関心をさらに深めて地域を  
見つめ直し、住民本位の自治を真剣に考えて頂き  
たいと思います。

時は心浮き立つ春、気はつらつ。次世代に責任  
を持って引き継げる夢と希望に満ちた雲南市の建設  
に向けて、共にがんばりましょう。



## 議会広報編集委員会

議長 吾郷 廣幸  
委員長 藤原 信宏  
副委員長 板持 達夫  
委員 星野 智  
金山 寿忠  
山崎 正幸  
細田 実  
景山 隆義